

■近藤廉平 実業家。三大遠洋航路開設などで(日本郵船)を世界最大級に発展させ、日本企業の海外進出の基盤に。

こんどうれんぺい

・ ・ ・ ・ ・ 1848= 阿波国麻植郡で、医者近藤玄泉の次男に生まれる。

ペリー来航・1853= 5歳：
開国開港・・1854= 6歳：武智文四郎の寺子屋に通学。

蕃書調所・・1857= 9歳：

安政の大獄・1859=11歳：西尾村にある林居陵の塾に通い、漢籍と手習いを学ぶ。
桜田門外変・1860=12歳：

生麦事件・・1862=14歳：母が死去。元服し、廉平と改名。徳島へ出、仁尾内膳の書生となり、新居興一郎の小心塾に入る。
8月18日政変 1863=15歳：父が再婚し、継母が来る。師新居が藩命で城下退去となり、塾頭柴秋邨が披いていた思齋塾に移る。

薩長同盟・・1866=18歳：

大政奉還・・1867=19歳：帰郷して、父の医業を手伝いながら、武智の道場で剣術を習う。

明治維新・・1868=20歳：赦免されて帰還した師新居と再会。朝廷の官吏を志し、

戊辰戦争終・1869=21歳：師秋邨の手引きで上京、徳島藩邸に身を寄せ、藩校の世話役になった後、

初の日刊新聞1870=22歳：大学南校に入って英語を学ぶが、師新居が淡路騒動に連座して入牢、切腹となり、帰郷。

廃藩置県・・1871=23歳：徳島の長久館に入り、再び就学。師秋邨が病没。

学問のすすめ1872=24歳：父が死去。大蔵省に出仕の星合常恕に随行して高知出張の際、岩崎弥太郎の知遇を得て三菱会社に入り、

明治6年政変 1873=25歳：

佐賀の乱・・1874=26歳：三菱が買収した岡山県吉岡鉱山庶務係に任ぜられる。政界への思い断ち切れず、辞表出すも、慰留され、

初の民間工場1875=27歳：事務長補になると、隣区の鉱主との係争に勝利するなどし、盛業に導いて頭角をあらわし、

三つの内乱・1876=28歳：事務長に昇格。失火で施設の大半を焼失、

西南戦争・・1877=29歳：復興させ、

大久保暗殺・1878=30歳：結婚。上京して、三菱汽船会社調役になると、冗費節約をはかり不況に対処、

琉球処分・・1879=31歳：北海道開拓に伴ない、貨物船の荷為替業務を開始、後に三菱銀行になる。

川田小一郎の下で三菱の経営合理化を推進。

明治14年政変1881=33歳：

新体詩抄・・1882=34歳：三男が誕生。高島炭鉱坑外部元締役として長崎に赴任するが、

岩倉具視没・1883=35歳：*共同運輸と三菱汽船の競争が激化すると、同汽船横浜支配人に就任して、海運界にデビュー。

秩父事件・・1884=36歳：熾烈な生き残り競争を陣頭指揮し、

内閣発足・・1885=37歳：岩崎の死去後、両社合併による日本郵船が設立されると、横浜支店支配人から、

帝国大学始・1886=38歳：東京支配人、

国民之友始・1887=39歳：本社支配人を兼務、

初の対等条約1888=40歳：本社調度課の支配人になり、経費節減に辣腕を振るう。

帝国憲法発布1889=41歳：官選で理事となり、

大津事件・・1891=43歳：日銀理事の要請受けるも固辞。

郡司千島探検1893=45歳：伊藤博文首相の勧告により、組織変更を実施し、専務取締役、

日清戦争始・1894=46歳：副社長をへて、

日清戦争終・1895=47歳：吉川社長死去で、社長となる。日清戦争時には軍用船舶借上・石炭供給の用に依り、

白馬会・・1896=48歳：*政府の航路助成政策にも支持されて、6千トン級船舶18隻の新造、欧米豪3大航路の開設を実現する。

Bushidou・・1899=51歳：ウラジオストックおよび中国各地を巡察、

ピアノ国産化・1900=52歳：アメリカを経てヨーロッパに渡り、ギリシャで腸チフスに罹って九死に一生得るなどしながら、

田中正造直訴1901=53歳：巡察して識見を高め、帰国。

教科書疑獄・1902=54歳：

日比谷公園・1903=55歳：再びウラジオストック方面を視察して、強硬な開戦論を展開して耳目を集める。

日露戦争始・1904=56歳：日露戦争でも、船舶を順次軍用に提供、

日露戦争終・1905=57歳：

満鉄発足・・1906=58歳：その功で、勲二等旭日重光章。

韓国反日暴動1907=59歳：麒麟麦酒会長。日清汽船・東亜工業を創立。

アラク 創刊・1908=60歳：日本セルロイド会長。

韓国併合・・1910=62歳：赴清観光実業団長として、中国各地を回る。

大逆事件判決1911=63歳：男爵、

明治天皇没・1912=64歳：唯一の著作「経済私見」発表。桂太郎首相から通信大臣就任を要請されるも固辞。

第一次大戦始1914=66歳：*第一次世界大戦が勃発すると、郵船の発展は絶頂に達し、次々と航路を開いて、海運界の覇者となる。

本格政党内閣1918=70歳：勅選貴族院議員となる。

ベルサイユ条約・1919=71歳：大戦後のパリ講和会議に随員として参加し、紺綬褒章、

大暴落・・1920=72歳：勲一等瑞宝章を下賜されるが、

原敬首相暗殺1921=73歳：*大流行したインフルエンザ(スペイン風邪)に罹り、没した。

妻は豊川良平の妹。